交流拠点都市
美祢市
MINE CITY

みね 議会だより

第20号 平成28年（2016年）9月1日発行

主な内容

○ 審議された議案等 …… 2～ 4
○ 美祢市議会議員一覧（会派別） …… 4
○ 美祢市議会の構成が新しくなりました …… 5
○ 一般質問 …… 6～16
○ 委員会報告 …… 17
○ 9月定例会の日程・編集後記 …… 18

発行 / 美祢市議会　編集 / 議会だより編集委員会　美祢市ホームページ http://www2.city.mine.lg.jp/
〒759-2292　山口県美祢市大嶺町東分 326-1　TEL（0837）52-1117　FAX（0837）52-1180

平成28年 第2回（5月）美祢市議会臨時会

会期 5月19日・20日（2日間）

第2回美祢市議会臨時会は、本年4月改選後の初議会として5月19日（木）に開会しました。

19日には、まず正・副議長及び常任委員会委員など、新しい議会構成について決定しました。（P5 議会構成をご覧ください。）

当初、会期は19日の1日間としていましたが、予定する議事日程を同日審議することが困難との判断から、会期を翌日まで延長し、本会議を延会しました。

20日（金）は、市長から提出された専決処分2件の報告がなされたのち、臨時会に上程された議案8件（条例の一部改正4件、補正予算2件、人事案件2件）の審議に入りました。

議案8件のうち、条例の一部改正4件（専決処分）は本会議にて全会一致で承認され、補正予算2件は所管の常任委員会で集中審査したのち本会議にて全会一致で可決されました。

しかし、教育長・教育委員会委員の任命に関する人事案件2件については、質疑・討論・採決の結果、賛成少数（賛成5・反対10）で同意しませんでした。

審議された議案等

専決処分の承認について

○議案第46号　専決処分の承認について
（美祢市税条例等の一部改正について）　**承認**

○議案第47号　専決処分の承認について
（美祢市都市計画税条例の一部改正について）
承認

○議案第48号　専決処分の承認について
（美祢市企業立地促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について）
承認

○議案第49号　専決処分の承認について
（美祢市国民健康保険税条例の一部改正について）
承認

補正予算について

○議案第50号　平成28年度美祢市一般会計補正予算（第1号）　**原案可決**

本年4月に熊本県で発生した地震による被災地に職員を派遣し、支援するため、それに要する経費122万5,000円を追加計上するものです。

○議案第51号　平成28年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）
原案可決

この事業における貸付金の償還金未納により、歳入不足が見込まれるため、地方自治法施行令の規定に基づき、平成28年度の歳入を繰上充用することに伴い、予算補正を行うものです。

人事案件について

○議案第52号　美祢市教育長の任命について
同意せず（賛成5・反対10）

永冨（ながどみ） 康文（やすふみ）（前）教育長の任期満了に伴い、新たに教育長を任命するため、市議会の同意を求められたものです。

○議案第53号　美祢市教育委員会委員の任命について　**同意せず（賛成5・反対10）**

美祢市教育委員会委員を辞職または、任期満了となる2名の後任委員を任命することについて、市議会の同意を求められたものです。

平成28年 第2回（6月）美祢市議会定例会

会期 6月14日～6月30日（17日間）

第2回美祢市議会定例会は6月14日（火）に開会し、市長から提出された報告4件、平成28年度一般会計などの補正予算3件、条例の制定・一部改正が各1件、財産の取得1件、及び5月の臨時会において不同意となった教育長・教育委員会委員の任命に関する人事案件2件の合わせて議案8件が上程されました。

そのうち、人事案件2件を除く議案6件については、所管の常任委員会（6月21日・22日）に付託され、集中審査を行い、最終日の本会議において討論・採決の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

しかし、人事案件2件については、質疑･討論･採決の結果、再び賛成少数（賛成6・反対9）で同意するに至りませんでした。

また、最終日に市長から追加提出された美祢市監査委員の選任に関する議案についても、他の人事案件と同様に賛成少数（賛成6・反対8）で同意せず、定例会に上程された人事案件の全てに同意しない結果となりました。

その他、議員提出議案として2件の条例改正議案が上程され、いずれも可決されましたが、そのうち美祢市議会議員の政治倫理に関する条例を全部改正したことに伴い、これからの政治倫理条例のあり方、内容等について審査をする「政治倫理条例に関する特別委員会」を設置し、閉会しました。

審議された議案等

補正予算について

○議案第54号　平成28年度美祢市一般会計補正予算（第2号）　**原案可決**

小学校の空調機整備に要する経費、及び本年のランタンナイトフェスティバルで披露される台湾から寄贈された大型ランタンの設置等にかかる費用など、総額で9,846万9,000円を追加計上するものです。

○議案第55号　平成28年度美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）　**原案可決（賛成14・反対1）**

本事業の制度改正に対する事前準備を行うため、電算システム改修に要する経費、382万4,000円を追加計上するものです。

○議案第56号　平成28年度美祢市水道事業会計補正予算（第1号）　**原案可決**

美祢市上下水道料金審議会条例の制定に伴い、審査会開催に要する経費として、49万2,000円を追加計上するものです。

条例の改正について

○議案第57号　美祢市行政組織条例の一部改正について　**原案可決**

市長のトップマネジメントを最大限発揮するため、重点施策の強力な推進、部局間の横断的調整業務、広報広聴業務などを所管する行政組織として、新たに「市長公室」を設けるものです。

○議案第58号　美祢市上下水道料金審議会条例の制定について　**原案可決**

市の水道並びに公共下水道、農業集落排水施設及び環境衛生施設（下水道）の使用料の適正化を図るため、地方公営企業法第14条の既定に基づき、上下水道料金審議会を設置するものです。

その他議案について

○議案第59号　財産の取得について　**原案可決**

現在市が所有している、はしご付消防自動車を経年劣化により更新するため、1億7,874万

円で新車を購入し、これを市の財産として取得するものです。

人事案件について

○議案第60号　美祢市教育長の任命について
同意せず（賛成6・反対9）

○議案第61号　美祢市教育委員会委員の任命について　**同意せず（賛成6・反対9）**

上記2議案は、5月臨時会において議会が同意しなかった人事案件です。6月定例会に改めて同じ内容の議案が提出され、再度議会の同意を求められたものです。

○議案第62号　美祢市監査委員の選任について　**同意せず（賛成6・反対8）**

地方自治法第196条第1項の規定に基づき、美祢市監査委員を選任することについて、議会の同意を求められたものです。

議員提出による条例の改正について

○議員提出議案第2号　美祢市議会委員会条例の一部改正について　**原案可決**

市長提出議案第57号において、行政組織に「市長公室」を新たに設けることになるため、議会の常任委員会の所管事項について、所要の改正を行ったものです。

○議員提出議案第3号　美祢市議会議員の政治倫理に関する条例の全部改正について
原案可決（賛成10・反対5）

本年4月1日に施行された現行条例について、改選後の議会において規定内容の見直しを図る必要があるとして、議員から同条例の全部改正案が示されたものです。

美祢市議会議員一覧表（会派別）

平成28年7月1日現在（届出順）

会派名	理　　念	所属議員（期別）
新　政　会	研修会を通じて、情報の共有化を図り議員としての資質を高め、市政発展に寄与する。	秋山　哲朗（8期） 荒山　光広（5期） ○ 髙木　法生（4期） 戎屋　昭彦（1期）
日本共産党	「国民が主人公」という立党の精神と地方自治の立場を貫き、市民の利益と美祢市の発展へ共同を広げる。	○ 三好　睦子（4期）
政　和　会	情報を共有し政策の調査、研究を重ね、政策提言できる集団を目指す。	竹岡　昌治（9期） 徳並　伍朗（9期） ○ 安冨　法明（7期）
純　政　会	純真・純心・純粋な政治を志し、市政の発展に努める。	○ 下井　克己（5期） 岩本　明央（5期） 山中　佳子（4期） 秋枝　秀稔（2期）
公　明　党	「大衆と共に」との立党精神をもって市民の側に立つ。	○ 岡山　　隆（4期）
無　所　属		猶野　智和（2期） 杉山　武志（1期） 末永　義美（1期）

○印は会派代表者／（期別）は合併前の議員歴を含みます。

美祢市議会の構成が新しくなりました

◎委員長　〇副委員長　平成28年7月1日現在

役職		氏名	委員数（定数）
議長		荒山　光広	
副議長		安冨　法明	
常任委員会	総務民生委員会	◎戎屋　昭彦　〇猶野　智和 ・竹岡　昌治　・安冨　法明　・山中　佳子 ・三好　睦子　・髙木　法生　・末永　義美	8（8）
常任委員会	教育経済委員会	◎秋枝　秀稔　〇杉山　武志 ・徳並　伍朗　・秋山　哲朗　・下井　克己 ・岩本　明央　・岡山　隆	7（8）
常任委員会	予算決算委員会	◎猶野　智和　〇末永　義美 ・竹岡　昌治　・徳並　伍朗　・秋山　哲朗 ・安冨　法明　・下井　克己　・岩本　明央 ・山中　佳子　・三好　睦子　・髙木　法生 ・岡山　隆　・秋枝　秀稔　・戎屋　昭彦 ・杉山　武志	15（16）
特別委員会	政治倫理条例に関する特別委員会	・竹岡　昌治　・徳並　伍朗　・秋山　哲朗 ・安冨　法明　・下井　克己　・岩本　明央 ・山中　佳子　・三好　睦子　・髙木　法生 ・岡山　隆　・秋枝　秀稔　・猶野　智和 ・戎屋　昭彦　・杉山　武志　・末永　義美 ※委員長、副委員長は９月定例会中に15人の委員の中から互選されます。	15（15）
議会運営委員会		◎髙木　法生　〇下井　克己 ・竹岡　昌治　・三好　睦子　・岡山　隆 ・秋枝　秀稔　・猶野　智和　・戎屋　昭彦	8（8）

（無所属）
猶野（なおの）　智和（ともかず）　議員

1　世界ジオパーク認定に向けた拠点施設の整備について

問　**新執行部においても、この事業に対するお考えに変わりはないか、また、この計画の根幹である世界ジオパークへの挑戦を続ける意志はあるか、お尋ねします。**

答　秋吉台科学博物館を整備（拠点施設の整備）することについては、基本的に前市長のお考えと同じです。したがって、本年１月の臨時会で「世界ジオパーク認定に向けた拠点施設の整備に関する要望決議」を可決された議会とも同じ方向性であると認識しています。

今後の認定活動については「Ｍｉｎｅ秋吉台ジオパーク」を一流の日本ジオパークとして育てることに重きを置き、また市民にジオパークの意義をご理解いただきながら、メリットや費用対効果などについても調査研究したいと考えています。

2　秋吉台周辺地域の美観維持について

問　**観光地にふさわしいトイレ施設の整備に対するお考えについて、お尋ねします。**

答　観光地のトイレについては、施設改修に合わせて洋式化、バリアフリー、ユニバーサルデザインの導入等の取り組みを進めます。

今年度は、秋吉台観光交流センター、秋吉台案内所のトイレの改修を行うとともに、秋芳洞正面入り口横の公衆トイレについても、故障箇所の修理を行います。

問　**秋吉台周辺の老朽化施設の整備及び廃屋の撤去について、お尋ねします。**

答　「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が交付され、本市においても本格的な空き家等対策の取り組みを始めています。

秋吉台周辺や市街地など、実態調査を行った上でスピード感を持って検討したいと考えています。

3　美祢高等学校跡地の利活用について

問　**美祢高等学校跡地の利活用について、市長のお考えをお尋ねします。**

答　跡地利用等については、県から具体的な方針は示されておらず、今後本市に対して要望等の協議がなされるものと考えています。

地元や議会のご意見をお聞きしたうえで、利活用について検討したいと考えています。

4　買物弱者対策について

問　**買物弱者対策について、市長のお考えをお尋ねします。**

答　食料品の車両移動販売を実施するほか、地域公共交通機関のミニバス等、今以上に使い勝手のよいシステムに変更するため、協議会を立ち上げ検討してまいります。

5　「乳幼児医療費助成制度」と「こども医療費助成制度」について

問　**今年度の当初予算において、これら子供に対する医療助成制度が創設されることが決定し、８月から新制度がスタートします。**

市民への周知方法について、どのようにお考えかお尋ねします。

答　本事業に関する詳細情報は、市報７月号及び美祢市子育て応援サイト「つぼみねっと」に掲載しています。

今後さらに制度を充実させ、若い方に住んでいただける「子育てしやすいまち」にしたいと考えています。

（新政会）
髙木（たかぎ）　法生（のりお）　議員

1　市長が目指す病院事業のあり方について

問　自治体病院の存在意義について、市長のお考えをお伺いします。

答　中山間地に位置し、少子高齢化、過疎化が進む本市において、市民の皆様が安全・安心にお暮らしできるよう、地域に必要な医療を安定的に提供することが、二つの市立病院（美祢市立病院・美祢市立美東病院）の役割だと認識しています。

問　二つの市立病院は、この存在意義のとおり役割を十分に果たしているとお考えかお伺いします。

答　民間の医療機関の進出が期待できない中、二つの市立病院は開業以降、救急医療体制の構築、また不採算地域での医療提供など、自治体病院としての役割を十分に果たしていると認識しています。

問　公立病院では、医師不足や持続可能な経営の確保等の課題がありますが、今後、二つの市立病院の健全経営をどのように図られるのかお伺いします。

答　二つの病院を維持し、地域に必要な医療の提供に努めていくことが大前提だと考えています。

昨年３月総務省より、地域医療を担う公立病院を将来的に持続的かつ安定的に維持していくことを目的とした「新公立病院改革ガイドライン」が公表され、今年度中に「新公立病院改革プラン」の策定を求められています。

病院事業局では、この新改革プランの策定に着手しており、この中で経営の効率化、再編ネットワーク化、経営形態の見直しの３項目について関係機関と連携し、検討していくことにしています。

今後、４年間の計画期間中の諸情勢を考察し、毎年度の進捗状況を把握のうえ、検証を行い柔軟に対応したいと考えています。

問　二つの病院をどのような形で維持されるか、お伺いします。

答　新公立病院改革ガイドラインでは、経営形態の見直しを含めた抜本的な改革を行うことを求められています。これに基づき、あらゆる可能性を検討したいと考えています。

公立病院を残しながら、指定管理者制度の移行なども含めた長期的な視野を持ち、新改革プランで示していきたいと思います。

2　医師確保について

問　医師確保が困難な現状と将来予想される医師余りの現象について、お考えをお伺いします。

答　医師の確保については、山口大学医学部への派遣要請、またインターネットや派遣会社を通じた募集をするなど、手を尽くしていますが、非常に困難な状況にあります。

しかしながら、県が実施した医師修学資金貸付制度を活用し、医師が平成29年度から過疎地の病院に勤務することになるため、本市もそれに期待しているところです。

医師数過剰（医師余り）については、あくまで国レベルの推計値で、大都市では医師数過剰になることが想定されますが、過疎地の医師不足の抜本的な解決には至りません。

したがって、県への働きかけはもちろんのこと、全国自治体病院協議会への働きかけも引き続き行っていくべきと考えています。

（政和会）
竹岡　昌治 議員

1　新市長の舵とりの方針について

問　**市長室を市役所本庁舎の一階に移すメリットは何かお伺いします。**

答　市民サービスに関する部署が多い一階に市長室を設けることで、市民の声が聞きやすくなると思います。

しかし、一階に市長室を設けるには、スペースや設置費用の問題等があるため、現在は移動市長室という形で対応しています。

移動市長室は、5月9日を皮切りに6月6日までの間、延べ13回開設し、37組44人の市民にお越しいただいています。

ここで、市民の皆様の関心事、期待や不安をお伺いし、同時に私の考えをご理解していただくこともでき、大変メリットのあるものと考えています。

問　**市民のお考えを聞き、市長のお考えを伝え、それを市政に反映していくことは、大切なことだと思います。では、議会との二元代表制については、いかにお考えかお伺いします。**

答　議会は市民の代表者であり、議論の場が保障されています。自治体全体の長期的・総合的な視点から物事を判断していただく機関だと認識しています。

問　**本市が台湾に設置している事務所には年間2,000万円の経費がかかるとのご認識を市長はお持ちのようです。**

その根拠と本市がこの事務所を有している効果について、お伺いします。

答　平成24年7月に台湾の台北市内に美祢市台北観光交流事務所を開設しています。この事務所開設に要した経費は、平成24年度が約400万円、25年度が約2,100万円、26年度が約1,700万円、27年度は約1,000万円です。

また、台湾からの観光客は平成24年度1,800人、25年度3,357人、26年度4,562人、27年度は3,600人で、開所当初と比較すると倍増しています。

美祢市台北観光・交流事務所（台北世界貿易センター内）

問　**台北駐福岡経済文化弁事処に行かれ総領事にお会いになられたと思いますが、市長は公約どおり事務所撤退についての打診をされたのか、お伺いします。**

答　今後は県知事、近隣市と協議し撤退を含めた見直しも必要だと思いますが、今年度は事務所に関する予算がついているため、それを執行することは必然だと思います。

注＝台北駐福岡経済文化弁事処を訪問のうえ、総領事に撤退を打診されたかどうかについての回答は得られませんでした。

問　**市長の政治倫理観についてお伺いします。**

答　公正・公平に行政を行うことが一番の倫理観であると思っています。

2　税金の使い方について

問　**市長は昨年9月に立候補表明をされていますが、本年4月の立候補時に議員を失職するという手法をとられ、その間、60数回にわたり「西岡晃を囲む会」等を開催されたと聞き及んでいます。**

議員報酬を得ながら本来の議員活動を遂行しないのは税金の無駄使いだとの認識をお持ちかお伺いします。

答　問いに対しての回答は得られませんでした。

（公明党）
岡山（おかやま）　隆（たかし）　議員

1　有害鳥獣被害に対する今後の対応策に関して

問　丹精込めて育てた農作物が、収穫前にサルやシカ、イノシシなどの野生鳥獣に食い荒らされて、やりきれない思いをされた方がたくさんおられます。

また、大嶺町の荒川・向原地区や美東町大田地区などでは、サルによる傷害事件が発生しています。

最近５年間に発生したサルによる人的被害の件数と人や農作物への有害鳥獣被害防止策の状況について、お尋ねします。

答　平成27年度の有害鳥獣における農林産物の被害金額は約2,600万円で、減少傾向にあります。

サルによる人的被害の被害報告は、平成25年度以前にはなく、平成26年度に５件、27年度に36件の報告を受けています。

本市における有害鳥獣対策としては捕獲・防護対策があり、平成27年度からはサルの捕獲対策として地元の猟友会に委託のうえ「大型囲いわな」を美東・秋芳地域に各１基設置し、効果を上げており、今年度は美祢地域に設置する予定です。

また、猟友会会員（昨年度226人）により捕獲隊を編成していただき、年間を通じてイノシシやシカの捕獲、平成25年度からはサルの一斉捕獲をお願いしています。

さらに、平成26年度から市単独の防護柵設置事業を創設し、個人で設置された防護柵に対して補助金を交付することで、市民のご協力を得ながら、被害防止に努めているところです。

2　「安全・安心のまちづくり」のための対応策に関して

問　秋芳町嘉万の市道沿いに今にも倒壊しそうな危険な空き家があります。両隣の民家と接近し、真向いの空き地は小学生の集合場所に利用されています。

このような空き家について、宇部市では行政の判断で略式代執行を行っておられます。本市も同様に特に危険性の高い空き家について、略式代執行することも必要と思いますが、いかがお考えかお尋ねします。

答　「空き家等対策推進に関する特別措置法」の規定に基づき、このような空き屋等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、協議会の組織化について検討しています。

問　降下煤塵集積器（こうかばいじんしゅうせきき）（デポジットゲージ）は市内27カ所に設置されています。

伊佐町の降下煤塵集積器塔（鉄塔）の一つは、土の流出による基礎部の露出やボルトの腐食等が進んでいます。そのため、大型台風が来れば住居に直撃する可能性があり、住民に被害を与える恐れがあります。

降下煤塵集積器施設等の安全管理体制について、お尋ねします。

答　降下煤塵集積器は工場の煙突等から排出される煤塵がどの程度地面に落ちるかを測定する装置です。

伊佐の当該施設が、倒壊した場合、隣接する民家の二階部分に直撃する可能性があるため、施設の撤去及び代替地に新設する方向で進めてまいりたいと考えています。

降下煤塵集積器（デポジットゲージ）

（無所属）
末永（すえなが）　義美（よしみ）　議員

1　子ども・子育て環境の整備・充実について

問　急速な少子高齢化は、中小規模自治体の存亡を危惧するほどであり、若者や子育て世代の人口流出と地域衰退の負の連鎖をどう食い止められるかが問われています。

今こそ、不要不急な事業や支出を見直し、人や企業から選ばれる美祢を目指して、子ども・子育て世代と高齢者の生活応援に特化した、市独自の政策を実現していくことが、最重要課題であると思われます。

そこで、住民ニーズの高い病児・病後児保育事業を実施すべきと考えますが、事業実施にあたっての問題点、さらに今後の見通しについて、お聞かせください。

答　病児・病後児保育については、昨年から事業実施を前提に検討しており、本年度は具体的に関係機関等と協議を進める準備をしています。

この事業の実施にあたっては、児童の病態の変化や感染の予防等に的確に対応するため、医療機関との連携が必要であり、病院への併設等が望ましいと考えています。

本事業は冬期のニーズが一時的に高まる傾向にあり、看護師や保育士の人材確保が困難という課題がありますが、「きめ細やかに子育て環境を整備していくため、早期に医療・保育機関と検討に入る協議会を設置し、具体的に推進していきたいと考えています。

問　全国で子どもの6人に1人が貧困に悩み、このことは子どもの人格形成にも悪い影響をもたらしています。

貧困は祖父母から親へ子どもへと連鎖していく傾向がありますが、子どもの将来や日々の生活が生まれ育った家庭環境によって左右されてはなりません。

そこで、生活・就労支援の状況と生活困窮者自立支援事業の内容について、お聞かせください。

答　本市では子どもの貧困対策として、生活支援制度や福祉制度を活用しながら教育委員会との連携を図り、学習面だけではなく、子どもの健やかな心の成長を育むことを目指しています。

まず、就学援助として、学校生活に必要な経費を援助しています。

また、生活支援（保護者の就労支援）として生活保護の相談をはじめ、生活保護に陥らないよう、前段階で支援を行う生活困窮者自立支援事業を実施し、家計相談等を行っています。

しかし、平成28年3月31日現在における生活保護世帯144世帯、ひとり親世帯235世帯のうち、専門員による相談を利用された件数は76件に止まっています。

子どもの貧困対策は虐待や不登校、非行といった問題行動につながる恐れもある重要な課題と認識しており、本市における貧困の実態を把握し、実情を踏まえ、ニーズに的確に対応できる施策を検証してまいります。

（新政会）
戎屋（えびすや）　昭彦（あきひこ）　議員

1　美祢市危機管理システムの体制確立とリスクの抽出と対策について

問　**美祢市には災害時職員配備体制について定められたものがありますが、休日・深夜、または第３・第４警戒体制等の非常体制における市職員の参集方法と安否確認の方法についてお尋ねします。**

答　市職員は美祢市安全・安心メールに加入しており、各部署にそれぞれ設定された役割により、初期段階からとるべき行動の準備・体制を整えています。

また、防災メールで各所属長に所属職員の安否確認・状況把握等を行うよう指示し、連絡網により全体的に確認しています。

問　**災害発生時における市内各地域との連絡・確認体制についてお尋ねします。**

答　本市では、小学校区を単位とした総合防災訓練を毎年実施しており、区長を主導者とした連絡体制の構築や避難場所、避難経路の確認等を行っています。災害発生時には、この連絡体制を利用して被害が予測される地区の責任者と迅速に連絡をとるなど、状況把握に努めています。

また、高齢者、障がい者については、所管課が民生委員や社会福祉協議会などの関係機関を通じ連絡をとる体制をとっています。

市民への周知方法は、安全･安心メール、電話、ホームページ、有線テレビや音声による告知放送など行っていますが、さらに確実に周知できる方法について検討してまいります。

問　**市内各地域における災害発生要因箇所の防災のためのリスク抽出と対策についてお尋ねします。**

答　災害発生要因箇所について、県土木事務所、美祢警察署、市社会福祉協議会および市関係部署と協力して危険箇所のパトロールの実施を行い、リスクの抽出や避難経路の確認などを行っています。

問　**市役所、病院、保育園、学校および通学路、通学バス路線でのリスク抽出と対策についてお尋ねします。**

答　市役所本庁および両総合支所ともに、建築年数の大幅な経過により老朽化が進み耐震機能が乏しいため、早急に対応を検討する必要があります。

保育所・小中学校については、教職員と保護者や地域が一体となり、通学路の点検や交通立哨などを行い、交通安全と防災の両面にわたりリスク回避を行なっています。

緊急電話の表示がない秋芳洞内の電話設備

問　**秋芳洞の危機管理および緊急時の対応についてお尋ねします。**

答　現状は、洞内２カ所の定点カメラで監視するとともに、30分置きに洞内の巡回を行っており、緊急時には、必要物品を持参して現場に急行しています。

今後、なお一層のリスク回避手段の向上を図るため、洞内での一般電話の通信確保について検討を進めてまいります。

（日本共産党）
三好（みよし）　睦子（むつこ）　議員

1　「教育充実都市」で子育てしやすい環境づくりについて

問　**スクールバスが運行されている校区では、保護者の通学費負担はありません。**

しかし、美東中学校の生徒116人のうち、路線バスで通学する71人の生徒の保護者が負担する通学費は、一人あたりの平均で年間51,840円となっています。

このような、通学費の保護者負担をなくすべきだと思いますが、市長のお考えをお尋ねします。

答　通学費の保護者負担に対する軽減制度については、地域間格差の是正、人口定住、教育環境充実の観点から検討を考えています。

平成29年度にかけて住民に説明を行い、調整を図ったのち、平成30年度を目途に新制度による通学費補助が行えるよう準備を進めていきたいと思っています。

問　**子ども医療費の無料化は、将来的な医療費の節減につながると考えています。**

今年度、小学校卒業までの医療費助成制度が創設されましたが、さらに中学校卒業まで拡大できないか、お尋ねします。

答　中学校卒業までの医療費軽減拡充については、限られた財源の中で総合的に判断し、検討してまいります。

問　**美祢青嶺高校に美東地域から通学する生徒が利用するアンモナイト号は、大田発着で運行されています。**

今後、美東町真長田地区から美祢青嶺高校に通われる生徒数の増加を促すため、バスの増便や、通学時間の短縮など、利便性の向上を図ってはいかがでしょうか、お尋ねします。

答　策定中の地域公共交通網形成計画の中で、一般住民の方々や中高生に対してニーズ調査をする予定です。この調査結果を踏まえ、通学手段や通学ルートなどの地域公共交通を検討してまいります。

アンモナイト号
（大田中央発 ～ 秋吉・嘉万下市・於福・美祢青嶺高校経由 ～ 美祢市立病院行き）

2　介護保険事業について

問　**介護保険料が第5期介護保険事業計画（前期：平成24～26年度）より32%アップした原因についてお尋ねします。**

答　介護保険料は、見込まれるサービス給付費等の全体事業費を算定し、3年に1度見直しを行っています。

保険料アップの原因は、全体事業費の増加によるもので、第5期中に財政安定化基金から借入れた額を第6期中（今期：平成27～29年度）に償還することや、新たに施設がつくられたことも影響しています。

問　**第5期末に、2億5,000万円の大型補正が組まれましたが、今後も次期の保険料が跳ね上がるという事態が起こり得るのでしょうか、お尋ねします。**

答　原則として、3年間（期中）に大型補正は計上しない予定です。

（無所属）
杉山（すぎやま）　武志（たけし）　議員

1　秋芳台・秋芳洞観光について

問　**本市では、ジオパーク活動の一環として「ジオカフェ」と呼ばれる企画等に取り組まれています。**

このたび、秋吉台ゲートウェイ整備事業により施設整備をされる予定ですが、この施設が市民のジオ活動とどのように関わるのか、お伺いします。

答　Ｍｉｎｅ秋吉台ジオパーク推進協議会では、このたび39人の方（市内在住36人）をジオガイドに認定したところですが、整備するゲートウェイ施設における活躍も大いに期待しています。

また、ジオパークについて気軽に話し合える場として「ジオカフェ」を毎月道の駅などで開催していますが、この活動についてもゲートウェイ施設を利用したいと考えています。

これらのジオ活動に対し、本市はさまざまな支援を続けてまいります。

問　**秋芳洞内に導入されたＬＥＤ照明については、当初すばらしい演出効果を計画されていましたが、その計画が変更された理由についてお伺いします。**

答　ＬＥＤ照明の設置後、特に藻類（そうるい）の繁殖状況を確認するため、専門の研究機関に委託し毎年定点観測を行っています。この結果については、県・市の文化財保護部局に報告していますが、以前に比べ繁殖の抑制効果は見られるものの、歯止めをかけるまでに至っていません。

したがって、現在は当初計画した明るさを見直し、ＬＥＤ照明による演出効果を抑えることで、発熱量を落とし、藻類（そうるい）・蘚類（せんるい）の繁殖抑制に努めています。

発生している藻類等については、担当部局と相談しながら、洞内の洗浄活動など環境保護に努め、観光客に喜ばれる最大限の配慮をしてまいります。

秋芳名水ふれあい広場（児童公園）

2　別府養鱒場運営と周辺開発について

問　**養鱒場に訪れる観光客の大半は子ども連れということもあり、隣の児童公園で多くの方々が遊んで帰られますが、公園に設置された遊具の半数以上が撤去された状態になっています。**

児童公園の遊具という考え方ではなく、観光客も利用されるという認識をお持ちいただき、再度遊具を設置願いたいと思いますが、お考えをお伺いします。

答　秋芳名水ふれあい広場は、児童公園として位置づけられておりますが、近年、別府弁天池の広報宣伝の拡大により、弁天池を訪れる観光客が増加傾向にあります。

今年のゴールデンウィーク期間中は地区内に渋滞が発生するなど、秋芳洞に次ぐ観光地として盛り上がりを見せていることから、ふれあい広場も観光面において有効活用することが必要だと認識しているところです。

したがって、今後、別府弁天池のさらなる観光振興に向け、地元団体や秋芳名水特産品直売所、及び広場の指定管理者とも連携を図り、総合的な観光振興策を検討する中で広場の有効活用について計画してまいります。

（政和会）
徳並（とくなみ）　伍朗（ごろう）　議員

1　教育環境充実都市の実現に向けての具体策について

問　**市長は、美祢市の子どもたちが未来に向けて夢を持ち、夢に向かって挑戦することが大切であるとのお考えから、新しい美祢市の目指す都市像として「教育環境充実都市」の構想を打ち出されました。**

「今まで以上に未来を担う子どもたちの成長を支え、子どもの夢と希望が輝く可能性を最大限に伸ばせるまちの実現を目指す。」さらに、「教育環境を充実させ、学力の向上を目指し図書館の充実や野外での体験学習の充実、また文化、スポーツのレベルアップを図る。」と言われています。

このことについて、具体的施策として何をされるのか、お尋ねします。

答　今年度から学校の普通教室を中心に空調設備整備事業に取り組みます。

また、学校の適正規模・適正配置を進めるため、嘉万、別府の両小学校については統合し、新校舎を建設のうえ、秋芳北部地域統合小学校（桂花小学校）を開校いたします。

厚保小学校についても、将来の統合に備え長寿命化改修事業を行います。

学校づくりについては、学校・家庭・地域が連携、協働し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支えるコミュニティスクールを推進します。

また、教師力の向上を図るため各界から多様な講師を招いて「みね無銘塾」を年20回開催しています。

学力の向上については、市内全小・中学校で東京大学の市川教授のご指導のもと「教えて、考えさせて、定着させる授業づくり」に取り組んでいます。

また、国際社会を生き抜くことのできる「いきいき美祢の子」の育成を図るため、美祢こども交流塾の開講、さらに英語力の向上のための取り組みや、中学生の海外派遣事業も行っています。

これら施策は、私が就任する前から実施されていた事業ですが、継続して実施していくことが教育の安定性、継続性を確保する上で必要だと認識しています。

その他の諸施策については、今後の施政方針および予算、条例などでより具体的な形をお示ししたいと考えています。

問　**村田前市長や永冨前教育長が進めてこられた教育行政により、美祢市の教育は大きく進展し充実したと感じています。**

西岡市長は「教育環境充実都市」を掲げられていますが、今までの教育行政に対し何か不満をお持ちなのか、お尋ねします。

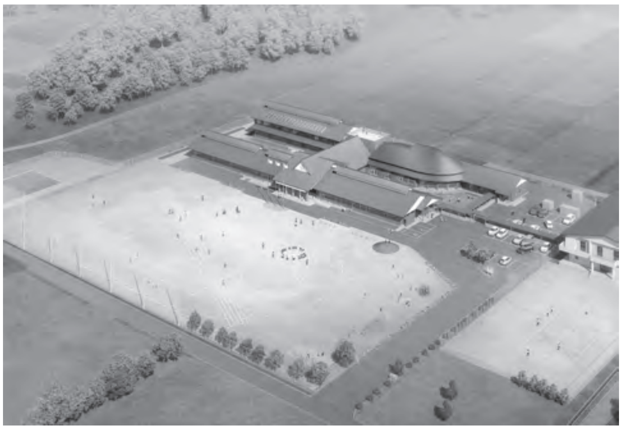
答　村田前市長は2期8年、永冨教育長は2期7年2カ月、美祢市教育の推進発展にご尽力をいただきました。

その間、美祢市の教育は大きく進展し、充実してきたと思っています。

したがって、これまでの教育行政に対して不満は抱いておらず、むしろ高く評価をしています。

問　**教育長、教育委員会委員の人事に関してお聞きをしますが、これらは「市職員」に当たるかどうかお尋ねします。**

答　教育長と教育委員会委員は、特別職の市職員です。



秋芳北部地域統合小学校（桂花小学校）完成イメージ図

（政和会）
安冨（やすどみ）　法明（のりあき）　議員

1　公民館単位での民意の取りまとめについて

問　**市長は所信表明において「地域の課題に関するご意見、ご要望をとりまとめ、的確かつ迅速に解決できるシステムを構築する。」と言っておられますが、その具体的内容についてお伺いします。**

答　地域ごとに異なる課題、要望がありますが、人口減少、高齢化により地域の助け合い機能が著しく低下し、安全・安心な暮らしや伝統行事、共同作業などの存続が困難になりつつあります。

　したがって、地域コミュニティが効果的に機能する単位として公民館を活用することが望ましいと考えています。

問　**公民館を活用する施策を実施するにあたり、必要な予算をどのように措置されるのか、お伺いします。**

答　施策の方針や予算措置については、担当課と相談しながら進め、これを議会にお諮りし予算執行してまいります。

2　空き家対策について

問　**嘉万のまちなかに危険な空き家が放置されています。本市の危険空き家の状況と対策についてお伺いします。**

答　市内の老朽危険空き家については、34件の報告があり、そのうち所有者を特定できた19件については、適切な維持保全の啓発や管理方法などの情報を提供しています。

　残りの15件については相続人等の特定に時間を要し、まだ調査の段階という状況です。

　本市の対策としては、空き家対策計画を策定するため、「美祢市空き家対策協議会（仮称）」の設立を関連部署と協議しながら進めてまいります。

3　過疎バス対策について

問　**交通弱者の利便性確保を図るため、アンモナイト号にフリー乗車区間を設けるお考えはあるか、お伺いします。**

答　現在、新たな公共交通政策のマスタープランとなる「美祢市公共交通網形成計画」の策定に入っています。

　この中でバスの利用方法を簡素化するための検討等を行い、利用者のニーズに沿ったものを考えていきます。

4　世界ジオパーク認定に向けた対策と観光集客力の向上について

問　**世界ジオパーク登録を目指し、博物館の整備等の課題解決を市長が先頭に立ち行う意向はあるか、お伺いします。**

答　Mine秋吉台ジオパークの最大の拠点施設である秋吉台科学博物館の整備に取り組むにあたり、施設のコンセプトを固めることが必要です。

　また、施設の整備には膨大な費用を伴うため、長期的なビジョンも必要です。

　いずれにしても、多様化する観光ニーズに呼応しながら独自性を打ち出し、観光集客力の向上に努めてまいります。

5　土地改良事業費の増額について

問　**単独土地改良事業費について、ほ場整備事業後20～30年が経過し、補修の需要が多く順番待ちの状況にあります。事業の予算規模を拡大のお考えについてお伺います。**

答　本事業は、全てを一般財源で対応しているため、大幅な増額は難しいと思いますが、市の基幹産業である農業振興の観点から、改めて予算を精査してまいります。

（純政会）
秋枝（あきえだ）　秀稔（ひでとし）　議員

1　公平・公正な行政運営について

問　**公平・公正な行政運営は、市政への理解と信頼を高める上で極めて重要です。**
市長の決意のほどをお伺いします。

答　市民目線で公平・公正に行政運営を行うことが基本だと考えます。
市政への理解と信頼が高まることが、市政発展の重要な基礎だと認識していますので、議会や市民の皆様と一致協力して美祢市振興という目標に向け邁進します。

2　地域間格差の是正について

問　**新生美祢市になり８年が経過しましたが、水道料金の統一を多くの人から言われながら、未だその工程が示されていません。**
料金の統一に向けた工程について、お伺いします。

答　水道料金は低廉で公平な料金でなければなりません。
このたび設置する上下水道料金審議会から来年度に答申をいただき、可能な限り早い時期に水道料金の改定、統合を目指します。

問　**秋芳中学校のスクールバスには保護者の費用負担がありませんが、美東中学校の通学には路線バスを利用するため、月々のバス代がかかります。**
通学費負担について、誰にもわかりやすい基準をつくる必要があると思いますが、いかがお考えかお伺いします。

答　平成30年度を目途に全市一体的な制度となるよう、スピード感を持って検討を進めたいと考えています。

3　市営住宅（公営住宅及び特定公共賃貸住宅）の管理運営について

問　**市営住宅の団地数と空き家の状況について、お伺いします。**

答　全体では36団地、836戸あります。本年５月末の空き家の状況は164戸（空き家率19.6%）です。

問　**美東町真長田にある特定公共賃貸住宅は空き家が多いと聞いています。この住宅が建築後20年経過し価値は落ちており、また住宅の性能に比べ家賃が高いことが空き家の大きな原因だと考えています。**
相応の家賃改定をすることについて、お考えをお伺いします。

答　本市の特定公共賃貸住宅の築年数は平均すると約20年を経過しており、その間、一度も家賃改定をしていません。入居者の居住の安定を図るため、また、ＵＪＩターン支援に向けた総合的な定住促進策の一環として、家賃の見直しの検討が必要だと考えています。

問　**公営住宅における共益費については、家賃と一緒に徴収する方法、団地自治会に全て委ねる方法、その中間の扱いなど自治体間でまちまちです。**
本市においては、住宅団地相互の入居者の間で負担の不公平が生じているのではないかと思いますが、このことについてお考えをお伺いします。

答　本市では、市営住宅の共益費の管理は各団地に委ねていますが、制度のあり方について検討したいと思います。

美東町白土団地（空き家が多い特定公共賃貸住宅）

委員会報告

総務民生委員長報告

（平成28年5月20日）

問　住宅資金貸付事業において、行方不明の債務者にかかる債権回収の見込みと、債権回収できない場合の放棄手続などのお考えについてお伺いします。

答　債権回収については、行方不明者の連帯保証人や相続人と債務返済について協議をしています。

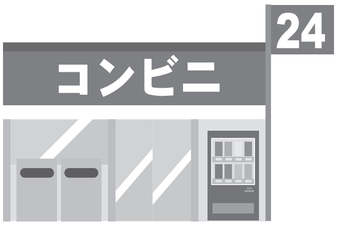
債権回収に関わる事務手続等については、今後、市の債権管理条例を制定する予定です。

総務民生委員会

（平成28年6月21日）

問　市税や公共料金のコンビニ納付について検討していただけませんか。

答　コンビニ収納については、これまでもいろいろ検討してきましたが、現在のところ導入していません。引き続き検討してまいります。



予算決算委員会

（平成28年6月22日）

問　小学校の空調設備整備事業において、市内4校（大嶺・伊佐・大田・秋吉）に空調設備が設置されます。

今後の事業計画、および中学校への設置については、どのようにお考えでしょうか。

答　今後の事業計画について、秋芳桂花（けいか）小学校（秋芳北部地域の小学校2校を対等統合のうえ、平成30年4月開校予定）は校舎建設時に、厚保小学校は長寿命化改修事業の中で空調整備を図る予定です。

また、他の小学校及び中学校についても、学校間で格差が生じないよう整備していきたいと考えています。

今後、国の補助制度を活用しながら、優先順位を付け、年次計画的に整備を図りたいと思っています。

問　秋吉台ゲートウェイ整備事業で整備される施設について、県の自然保護課のほうへ許可の確認はしていますか。

答　現在、県担当部局と調整中ですが、許可が得られる見込みです。

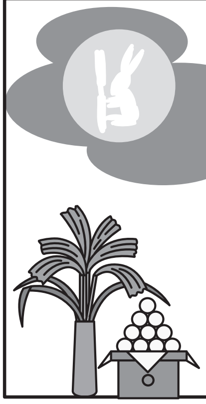
問　美祢ランタンナイトフェスティバルは、地域振興策として大きな成果を上げています。市長は台湾との交流等に関して「身の丈に合った…」と発言されましたが、今後、どのように事業を継続されるのでしょうか。

答　このイベントは、青年会議所の若い皆さんが頑張っておられる取り組みです。市としても引き続いて応援をしていきたいと考えています。

問　ジオパーク活動の推進には、これからどう取り組まれますか。

答　今後とも積極的に進めてまいりたいと考えています。

4月にオープンした美祢市秋芳テニス場



平成28年
9月
定例会日程

平成28年第3回(9月)定例会は、右表のように予定しています。
市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。
正式な日程は、8月29日(月)に開催予定の議会運営委員会で決定します。

日　程	時　間	内　容（予　定）
9月　5日(月)	10:00	本会議（初日）
9月　7日(水)	10:00	本会議（一般質問）
9月　9日(金)	10:00	本会議（一般質問）
9月20日(火)	9:30	教育経済委員会
9月21日(水)	9:30	総務民生委員会
9月23日(金)	9:30	予算決算委員会
9月26日(月)	10:00	本会議（最終日） 本会議最終日に平成27年度一般・特別会計の決算議案が提出される予定です。この議案を審議するのため、会期の延長を行う予定です。

編集後記

熊本地震では多くの死傷者とともに、社会基盤に甚大な被害が発生しました。心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。
美祢市議会では、些少ではありますが義援金をお送りさせていただきました。
4月に市議会議員選挙があり16人の議員が誕生し、議会だより編集委員会も新たな顔ぶれとなりました。市民の皆さまが読みやすい紙面となりますよう心がけてまいりますので、よろしくお願いいたします。（安冨）

議会だより編集委員会

委員長	山中　佳子
副委員長	戎屋　昭彦
委　員	安冨　法明
〃	三好　睦子
〃	岡山　隆
編集補助	杉山　武志
〃	末永　義美